

第70回 記念定期演奏会

指揮 横山 淳

杉並 弦楽合奏団

W.A.モーツァルト：
ディヴェルティメント
K.137

J.S.バッハ=R.ニールセン編曲：
無伴奏ヴァイオリン
パルティータ第2番ニ短調
BWV1004 より
「シャコンヌ」

横山 淳：
「花鳥彩譚絵巻
櫻と朱鷺と。。。」

杉並弦楽合奏団
第70回記念定期演奏会のために

A.ヴィヴァルディ：
「四季」全曲
ヴァイオリンソロ：尾池 亜美

2023年
12月17日(日)
午後2時開演 (1時30分開場)

セシオン杉並ホール
入場無料・全席自由

共催 杉並区教育委員会
お問い合わせ 杉並弦楽合奏団 杉森 tel 03-3398-6411

プログラム ノート

杉並弦楽合奏団の定期演奏会が70回を迎えるにあたり、団員であり作曲家である横山淳氏の指揮による記念演奏会を企画いたしました。プログラム前半は、16歳のモーツァルトが作曲した、自由で軽快な「ディヴェルティメント」K.137で始まります。続く「シャコンヌ」は、無伴奏ヴァイオリン曲の金字塔であるJ.S.バッハ「パルティータ第2番」の終曲を、1930年代にイタリアの作曲家リッカルド・ニールセンが、厚みのある弦楽合奏版に編曲したものです。3曲目「花鳥彩譚絵巻 櫻と朱鷺と。。。」は、横山淳氏が今回の演奏会のために書き下ろした作品で、日本と西洋の音階を基にこの曲のために組まれた音階を使った独創的な旋律が、花と鳥をめぐる悠久の物語を紡ぎます。

プログラム後半は、ヴィヴァルディの名曲「四季」全曲をお送りします。18世紀のイタリアで生まれたこの作品はその後20世紀になって再評価され、イ・ムジチ合奏団のレコードが驚異的なベストセラーを記録してバロックブームの火付け役となりました。ソネットの書き込まれた譜面からは、四季の自然とそこで生活する人々の息づかいが、数百年の時を越えて伝わってきます。今回、杉並区出身で世界的に活躍されているヴァイオリニスト尾池亜美さんをソリストにお迎えしました。胸のときめく演奏をお届けできますよう、団員一同精いっぱい努めます。どうぞお楽しみに。

セッション杉並

杉並区梅里 1-22-32

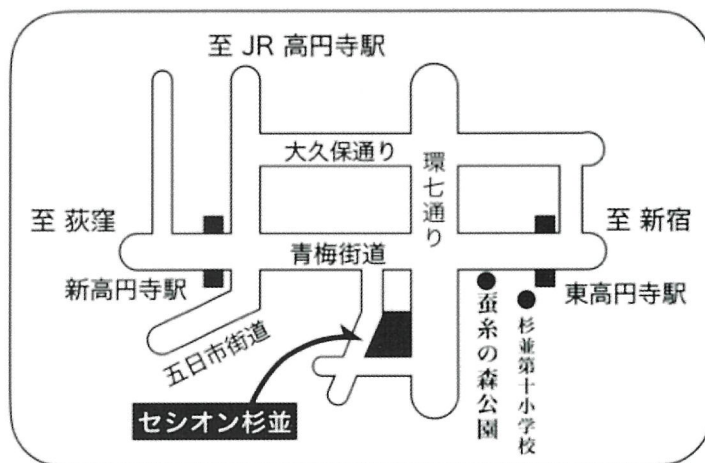
電話 03-3317-6611

東京メトロ丸ノ内線

東高円寺駅下車 徒歩5分

新高円寺駅下車 徒歩7分

- ※ 車でのご来場はご遠慮ください。
- ※ 就学前のお子様のホール客席への入場はご遠慮ください。
- ※ ホール後方に親子席（防音室）がございます。ご希望の方は当日受付にお申し出ください（先着6名様まで）。
- ※ 中通路には車椅子席もございます。



杉並弦楽合奏団 活動のご案内

「杉並弦楽合奏団」は杉並区を拠点にした弦楽器のみの合奏団です。年2回の定期演奏会のほか、児童館などへの出張演奏など、「杉弦」の愛称で地域に根差した活動をしています。

ただいま全パートで入団者を歓迎しています。弦楽器の演奏経験があり、合奏に意欲をお持ちの方、一緒に合奏しませんか？ ぜひ一度見学にいらしてください。1か月間の仮入団制度もあります。詳細はホームページ <<https://suginamigengaku.com>> をご覧ください。

[練習日時および場所] 毎週火曜日午後6時20分～9時、主に荻窪地域区民センター

[お問い合わせ] 稲葉 03-3399-5169

満席になりますとご入場いただけません